

分会情報

J R 東海労大阪第一車両所分会
No.620 2008.8.27
発行責任者 小林 國博
編集責任者 教 宣 部

「要員は確保している」と社員を欺く会社を許すな!!

先の分会情報No618において、大一両の休日出勤が異常と言えるほど多数発生しており、会社は適正な要員を確保しておらず車輛と社員の安全を無視していることを明らかにしました。

これに対して会社は、先頃東海労との間で行われた構内操縦「入8」に関する業務委員会において次のように言っています。

組合：「入8」の夜勤をプラス1出面とし、日勤を△1としているが、+1と△1だが夜勤と日勤では人数が合わない。夜勤は2日、日勤は1日で要員不足になるのでは

会社：基準人員に変更はない

組合：月に80、90、100日程度休日買い上げがでている。「入8」を設置した要因もあるのではないかと。要員に無理がある。異常事態である。

会社：養成だとか、波動的なものが発生している。「入8」に主要因があるわけではない。一つの要素であり、貴側は、異常と言うが、そうとは考えていない

組合：基準人員は確保していると言うが要員が不足しているから休日買い上げしているのだ。

会社：円滑に業務を進めるために必要な数が基準人員だ、必要な人員は確保している。

(以上、東海労「関西業務ニュース」No64より抜粋)

毎月毎月多数の社員が休日出勤しないと業務がまわらない現状であるにもかかわらず、必要な人員は確保していると言って社員を欺いているのです。

会社は「養成だとか、波動的なもの」とか言いますが、毎月毎月休日出勤が発生している現状からすれば、会社が言う養成とか波動的とかは日常の業務の一環としてあるのもであり、当然必要な要員を確保しなければならないのです。

大一両は、変形・台交など様々な勤務形態のため公休・特休が個人個人で違う関係で希望日に休みが取得できないようなことはほとんどありません。そのため大二両や大三両のように希望日に年休が取れないという要員についてはあまり問題にならないことをいいことに、会社は「要員を確保している」と欺いて馬車馬のように働かせればよいと思っているのです。

自らの健康や車輛の安全を守るため、現場で働く私たちが声を上げていきましょう。